

平成 26 年 5 月 28 日開催の水道事業審議会における質疑への回答

【質問】

合併後の住民サービスの公平性を確保する観点から、料金面だけでなく、サービスの公平性も確保すべきである。地域毎のサービスの違いなどについて、具体的に知りたい。

【回答】

本市は、平成 16 年 11 月に国府地域、河原地域、青谷地域の上水道事業を統合し、一水道事業の経営を行っています。したがって、合併調整方針で決定した水道料金体系を除いて、給水サービス（住民サービス）については基本的に同じです。

●主な給水サービス

項 目		鳥取・国府地域	河原地域	青谷地域
料 金 徴 収	使用開始、使用中止	・ 平日の受付は午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで（夜間、土・日、祝祭日休日は宿直員が対応）		
	メーター計量	・ 2 か月毎		
	支払方法	・ 納入通知書による支払い ・ 口座振替による支払い	・ 鳥取・国府地域に同じ （コンビニエンスストアでの支払いは平成 27 年度料金統一時に開始予定）	
施設維持管理	公道の漏水、屋内の漏水修理等	・ 平日の受付は午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで（夜間、土・日、祝祭日休日は宿直員が対応） ・ 屋内漏水調査、公道漏水調査の実施		
施 設 整 備	鉛製給水管の更新	・ 実施中	・ 鉛製給水管の使用実績なし	
	老朽管などの更新	・ 石綿管の更新（完了） ・ 鋳鉄管、塩化ビニル管の更新実施中	・ 石綿管の使用実績なし ・ 管路は比較的新しい ・ 橋梁添架管（鋼管）の更新計画	・ 石綿管の更新（完了） ・ 管路は比較的新しい ・ 橋梁添架管（鋼管）の更新実施中
	管路の耐震化率 （平成 25 年度末見込）	別 紙		
	その他		・ 江山浄水場からの一部地域への直接給水するための整備を実施中	・ 浄水施設整備を計画
水 質 管 理	水質検査	・ 各水源の状況を考慮したうえで、検査項目、頻度を法令に基づき定める （安全性は各地域とも同等のサービス水準）		
そ の 他	非常時の対応	・ 給水車を国安庁舎に配備		・ 給水車を青谷営業所に配備

管路の耐震化率について(別紙)

○鳥取市水道局の管路更新の考え方

水道管路（導送配水管）を耐震性能等によって、おおむね3グループに分けて水道管路を更新している。

管 路 グループ	耐震管グループ	非耐震管グループ	老朽管グループ
管 種	<ul style="list-style-type: none"> ダクタイル鋳鉄管（耐震継手） 溶接鋼管 配水用ポリエチレン管 	<ul style="list-style-type: none"> ダクタイル鋳鉄管（耐震継手以外） ゴム輪継手の塩化ビニル管 ネジ継手鋼管 給水用ポリエチレン管 	<ul style="list-style-type: none"> 鋳鉄管 接着継手の塩化ビニル管 鋼管の一部
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> 地震に対して強い継手を持つ耐震性能のある管路 	<ul style="list-style-type: none"> 非耐震管であるが、ある程度の耐震性能がある管路 経年劣化による破損や水質悪化などは認められない。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性能に劣る管路 経年劣化による破損が多い（接着継手の塩化ビニル管） 水質悪化（さびによる赤水）の原因となっている（鋳鉄管、鋼管の一部）。
布設年代	<ul style="list-style-type: none"> 主に平成7年～（鳥取地域） 主に平成17年～（国府・河原・青谷地域） 	<ul style="list-style-type: none"> 主に昭和50年頃～平成6年（鳥取地域） 主に昭和50年頃～平成16年頃（国府・河原・青谷地域） 	<ul style="list-style-type: none"> 主に昭和30年～昭和50年頃（鳥取地域） （国府・河原・青谷地域は少ない）
更新等の状況 （平成25年度末）	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取地域では平成7年から新設・更新する管路に耐震管を原則採用している。 国府・河原・青谷地域は平成17年以降、更新する管路に耐震管を原則採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取・国府地域で約50～60% 河原地域及び青谷地域は、90%以上の管路がこのグループに属する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取・国府地域に残存する75mm以上の管路を震災対策整備事業で更新中

	鳥取・国府地域	河原地域	青谷地域
管路全延長 （平成25年度末見込）	980.0 km	97.9 km	75.1 km
耐震管グループの管路延長 （平成25年度末見込）	349.4 km	2.1 km	4.4 km
管路の耐震化率 （平成25年度末見込）	35.6%	2.2%	5.9%

※耐震化率＝（各地域の耐震管グループの管路延長）／（各地域の管路全延長）

中国地方の県庁所在地及び近隣都市の経営指標(平成24年度)について

↑ - 数値が大きいほど良好
↓ - 数値が小さいほど良好

指標	指標の見方	計算式		本市	全国平均	類似団体 平均	松江市	岡山市	広島市	山口市	倉吉市	米子市
給水人口 (単位:人)				160,748	-	-	166,446	700,396	1,214,101	171,650	41,494	187,387
1 事業の概況を示す指標												
(1) 普及率 (単位:%)	行政区域内で上水道を使っている人の割合を示す。	現在給水人口/行政区域内人口×100		83.0	92.4	96.6	80.7	99.8	97.3	88.2	83.1	99.2
(2) 有収水量 (単位:千m ³)	年間の料金徴収の対象となった水量			19,142	-	-	17,928	82,794	129,298	18,241	5,261	21,635
(3) 有形固定資産減価償却率 (単位:%)	有形固定資産の減価償却の進捗度を示す指標。比率が高いほど、減価償却が進んでいることを示す。施設の老朽化の度合いや修繕費の発生等を把握するうえでの判断材料となる。	有形固定資産減価償却累計額/有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価×100	↓	31.6	42.0	40.5	46.2	45.2	42.4	33.9	52.3	36.2
2 施設の効率性を示す指標												
(1) 施設利用率 (単位:%)	配水能力に対する配水量の割合を示す。施設の利用状況を総合的に判断するうえで重要な指標	1日平均給水量/1日給水能力×100	↑	65.3	60.6	66.6	52.4	72.9	60.3	60.3	54.2	77.6
(2) 有収率 (単位:%)	施設の稼働状況がどの程度収益につながっているかを示す指標	有収水量/給水量×100	↑	92.3	90.0	89.6	92.6	90.3	93.6	93.9	85.5	91.6
3 経営の効率性を示す指標												
(1) 総収支比率 (単位:%)	総収益の総費用に対する割合を示す。この値は100%以上であることが望ましい。	総収益/総費用×100	↑	95.0	107.8	106.0	105.6	104.6	105.6	108.1	107.4	116.1
(2) 経常収支比率 (単位:%)	経常収益の経常費用に対する割合を示す。この値は100%以上であることが望ましい。	[(営業収益+営業外収益) / (営業費用+営業外費用)] ×100	↑	95.2	108.2	107.3	105.6	104.3	106.0	113.9	105.3	116.2
(3) 繰入金比率(収益的収入分) (単位:%)	損益勘定繰入金の収益的収入に対する割合を示す。この値は低い方が独立採算性の原則に則っていると見える。	損益勘定繰入金/収益的収入×100	↓	1.1	2.0	0.8	0.7	1.0	2.9	3.0	1.7	0.8
(4) 繰入金比率(資本的収入分) (単位:%)	資本的勘定繰入金の資本的収入に対する割合を示す。この値は低い方が独立採算性の原則に則っていると見える。	資本勘定繰入金/資本的収入×100	↓	14.4	13.4	6.0	4.9	5.0	16.9	18.7	6.1	10.4
(5) 給水収益に対する企業債利息の割合 (単位:%)	企業債利息の給水収益に対する割合を示す。	企業債利息/給水収益×100	↓	15.0	7.3	8.4	5.8	6.1	10.3	11.8	10.6	8.1
(6) 給水収益に対する減価償却費の割合 (単位:%)	減価償却費の給水収益に対する割合を示す。	減価償却費/給水収益×100	↓	49.1	30.5	34.0	30.1	39.0	35.0	35.8	37.4	29.7
(7) 給水原価 (単位:円)	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを示す。料金水準を示す数値としてみれば、給水原価は安い方が水道事業者にとっても水道利用者にとっても望ましいが、給水原価は水源や原水水質など水道事業環境に影響を受けるため、給水原価の水準だけでは、経営の優劣を判断することは難しい。	[経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)]/有収水量	↓	158.27	173.17	143.96	207.47	163.23	153.96	161.51	144.52	124.03
(8) 供給単価 (単位:円)	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ収益を得ているかを示す。供給単価は、定額である方が水道サービスの観点から望ましいが、水道事業の事業環境には大きな差があるため、単純に金額だけで判断することは難しい。	給水収益/有収水量	↓	139.59	171.60	140.94	208.85	156.07	152.18	170.68	133.73	137.24
(9) 1か月20m ³ 当たりの家庭用料金 (単位:円)			↓	2,016	3,101	2,236	2,908	2,446	2,289	2,735	2,249	2,133
4 財務の状況を示す指標												
(1) 当座比率(酸性試験比率) (単位:%)	支払義務としての流動負債に対する支払手段としての当座資産(流動資産のうち、現金・預金、換金性の高い未収金等)の割合を示すものであり、短期債務に対する支払能力を表している。	(現金預金+未収金)/流動負債×100	↑	822.3	419.9	600.1	1088.6	574.3	257.2	531.6	719.8	310.3
(2) 自己資本構成比率 (単位:%)	総資本(負債及び資本)に占める自己資本の割合で財務的健全性を示す指標。経営安定化のためには、この比率を高める必要がある。	(自己資本金+剰余金)/負債・資本合計×100	↑	68.6	68.3	67.5	66.6	77.5	65.1	66.4	55.1	69.2
(3) 固定資産対長期資本比率 (単位:%)	資金が長期的に拘束される固定資産が、どの程度返済期限のない自己資本や長期に活用可能な固定負債などの長期資本によって調達されているかを示す指標。比率は常に100%以下で、かつ、低いことが望ましい。	固定資産/(固定負債+資本金+剰余金)×100	↓	96.9	91.3	92.1	82.1	91.8	96.6	96.6	87.6	95.2